

長岡京市市民活動応援補助金 採択事業紹介シート(市民提案型協働事業コース)

やすらぎクラブ長岡京／「高齢者の交通安全教育普及事業」

団体紹介

やすらぎクラブ長岡京は、長岡京市に在住する 60 歳以上の者で構成しています。2020 年 4 月 1 日現在の会員数は 2,662 名です。昭和 39 年に発足し、昭和 49 年に長岡京市老人クラブ連合会へ改組、平成 30 年にやすらぎクラブ長岡京に改称しました。増大しつつある高齢者層の心身の健康・安全の実現を目指し、行政機関等と協力し、同世代の組織化に努めています。

採択事業紹介

「高齢者が交通事故の加害者にも被害者にもならない、安心して生活できる長岡京市」の実現を目指しています。高齢者が加害者となる交通事故が増加し、また、死亡事故の多くを高齢者が占めているという現状を踏まえ、高齢者自身が交通ルールを知って安全な行動ができる。低下していく交通安全力を維持・向上させるということを目指し交通安全教室を開催してきました。

また、今年はコロナ禍にあって、集合教育の開催が困難であったため、現に活動しているクラブや同好会に出向き、交通安全の声掛け活動や反射材を貼付する活動に力をいれました。

開催した結果や今後の予定など

各種出前講座の開催状況

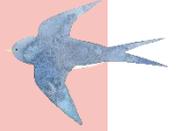
- ・「生き生き交通安全」教室 延べ 18 回 279 名
- ・交通安全声掛け活動及び反射材貼付活動 延べ 30 回 713 名
- ・交通ボランティアの育成 1 回 26 名
- ・その他 小学生の自転車指導 4 回 227 人
迷惑駐輪対策 1 回 4 名

補助金は、交通教室参加者を募集するチラシの企画・印刷、講師謝礼や資料作成、反射材の購入などに活用しました。

この事業も 3 年目を迎え、口コミで広がり多数の出前講座の申し込みが来るようになりました。しかし、今年度はコロナ禍ということで、中止となったものや自動車教習所が使用できず計画倒れになった事業が多数ありました。

来年度からは、補助金事業は終了となりますが、市交通政策課との連携はいうまでもなく、向日町警察署など関係機関団体と協力して、高齢者の交通安全教育の普及活動を継続していきます。





生き生き交通安全教室

実施回数 18回 参加者 279人

「生き生き交通安全」は、いつまでも車や自転車を運転したい、安全に歩きたいと願うみなさんを応援する交通安全教室です。低下する機能を自覚し補うことで交通安全能力を維持していきます。また、活動的な方や友達が何人もいる人ほど、安全に行動できることが分かっています。みんなでワイワイ集まって、交通安全能力を高めます。



じゃんけんゲーム

始めに「じゃんけん」などゲームを行ない、脳の活性化を図り、交通安全に大切な、認知、判断、行動がスムーズに行なえることの大切さを知ってもらいます。

交通事故の特徴やルールを説明

高齢者に多い事故の特徴を知らせ、安全な行動ができるようお話をしています。また、交通ルールを話すと「知らなかった」という人が多いため、特に加害者にもなる自転車のルールについてはしっかり覚えていただいています。



脳トレ



間違い探しや簡単な計算は、危険予知に必要な「注意力」を高めたり、正しく判断して安全な行動がとれる脳の働きを活性化させます。

夜間の事故防止講習

夜間の交通事故防止のための講習会を行い、その中で手作り反射材を作成しました。



◆手作り反射板
(左上)反射糸で作ったストラップ
(左下)干支の貼り絵と反射材
(右)反射糸で編んだコサージュ





交通安全声掛け活動 ・反射材貼付活動

実施回数 30回 参加者 713人



グランドゴルフ大会
終了後、参加者に交
通安全の声掛けを行
い、靴のかかとに反射
材の貼付をしました。

参加者の皆さんには、
「夜間の事故防止に役立
つ」と大変喜んでいただ
けました。



その他、事前にこの活動に賛同
いただいた運動同好会などに伺
い、交通安全の声掛けと反射材
の貼付(靴のかかと)を行ないま
した。



交通ボランティアの育成

実施回数 1回 参加者 26人



・自転車安全運転講習会

やすらぎクラブ長岡京
追加資料 3



・自転車安全利用推進員への指導

京都府の安心・安全まちづくり推進課と向日町警察署から講師を招き、自転車安全利用推進員の資格取得講習と、すでに推進員になっている方のレベルアップ講習を行ないました。

安全な自転車の乗り方の説明後、実際に自転車に乗って、ルールを守って走る練習と技術走行にチャレンジしました。

